

北原小学校改築推進委員会 要 点 記 録

第 4 回

開催日時		令和7年5月20日(火) 午後6時30分～8時00分
開催場所		北原小学校 2階会議室
出席者	委員	松本宙人、岡陽子、内藤正純、小林てる子、笠原敏、粉川潔、新谷順子、中村陸男、糸澤なぎさ、鈴木淳、辻健一、保積武範、原太洋 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校地域連携係、子ども教育施設整備係
会議次第		【議事】 1 北原小学校新校舎整備にかかるこれまでの経緯について 2 ブロックプラン（案）について 3 新校舎整備のスケジュール（案）

第4回 北原小学校改築推進委員会 会 議 要 旨

1 開会

委員長

定刻となったため、これより第4回推進委員会を開会する。
傍聴希望者がいるため許可を諮りたい。傍聴について、これを許可してよろしいか。

—異議なし—

副委員長

では傍聴者は、注意事項を遵守し議事の進行を妨げないようにお願いしたい。

2 報告

委員長

議事に入る前に、資料1のとおり委員に変更・追加があったため、事務局より紹介する。

事務局

委員紹介及び自己紹介

大和町北協和会	内藤 正純 委員
中野区学校地域連携担当課長	保積 武範 委員
中野区子ども教育施設課長	原 太洋 委員

3 議事

委員長

それでは、本日の議事について、子ども教育施設課長より説明を求める。

■議事1「北原小学校新校舎整備にかかるこれまでの経緯について」

子ども教育施設課長

前回の改築推進委員会から半年経過しているため、今一度、これまでの経緯についてまとめたので説明する。

令和6年4月26日、こちらが第一回改築推進委員会だが、新校舎についての説明、協議を行い、7月10日の第二回の委員会では人工芝の校庭に反対する意見等があった。

その後、中野区議会にて「北原小学校の改築に際し、地域の意見を踏まえた校庭の使用にすることについて」の請願が提出され、審議の結果採択がされた。

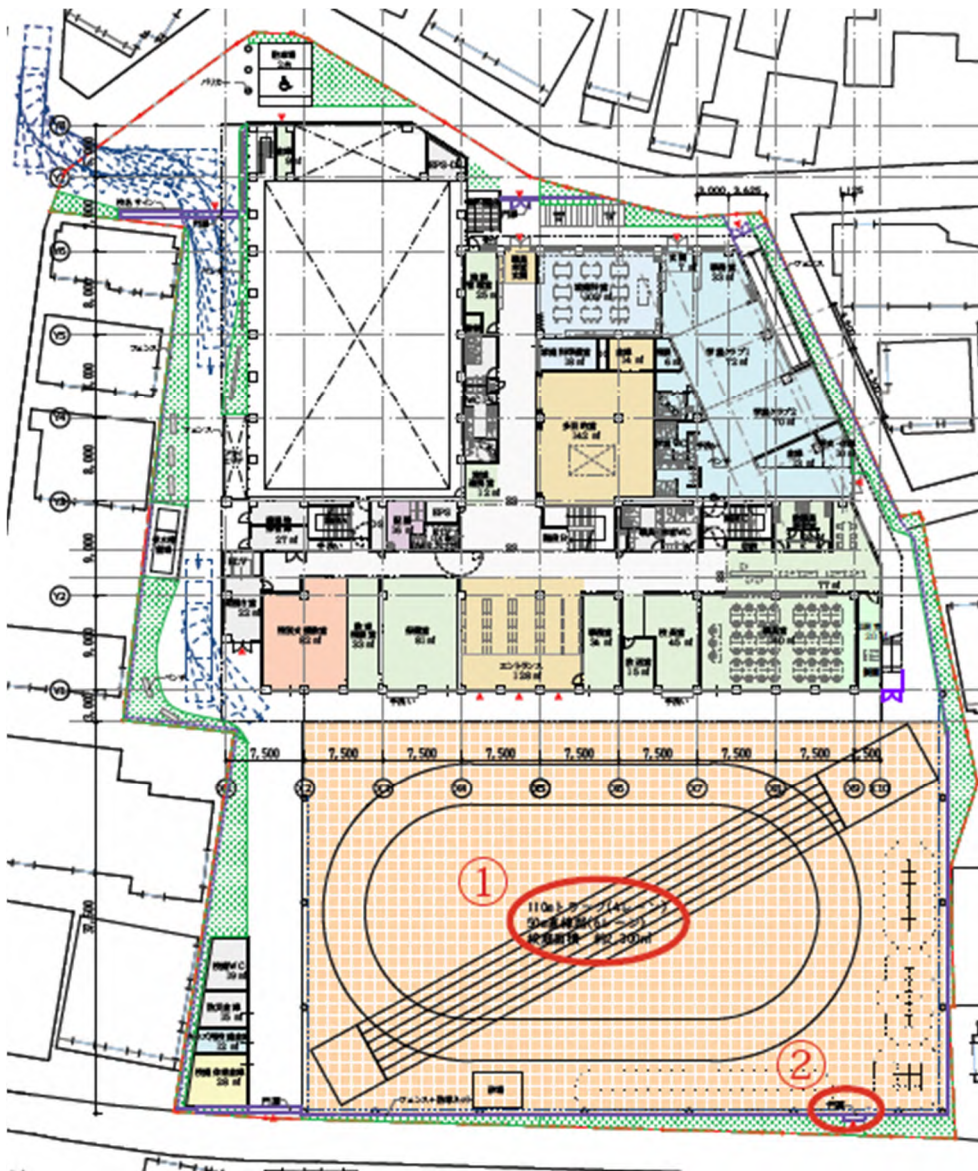
その後、11月の第三回の委員会で校庭をダスト舗装とする案を基本として、計画がまとまったものであり、今回、第四回の委員会にて、設計案をご紹介させていただくものである。

■議事2「ブロックプラン（案）について」

子ども教育施設課長

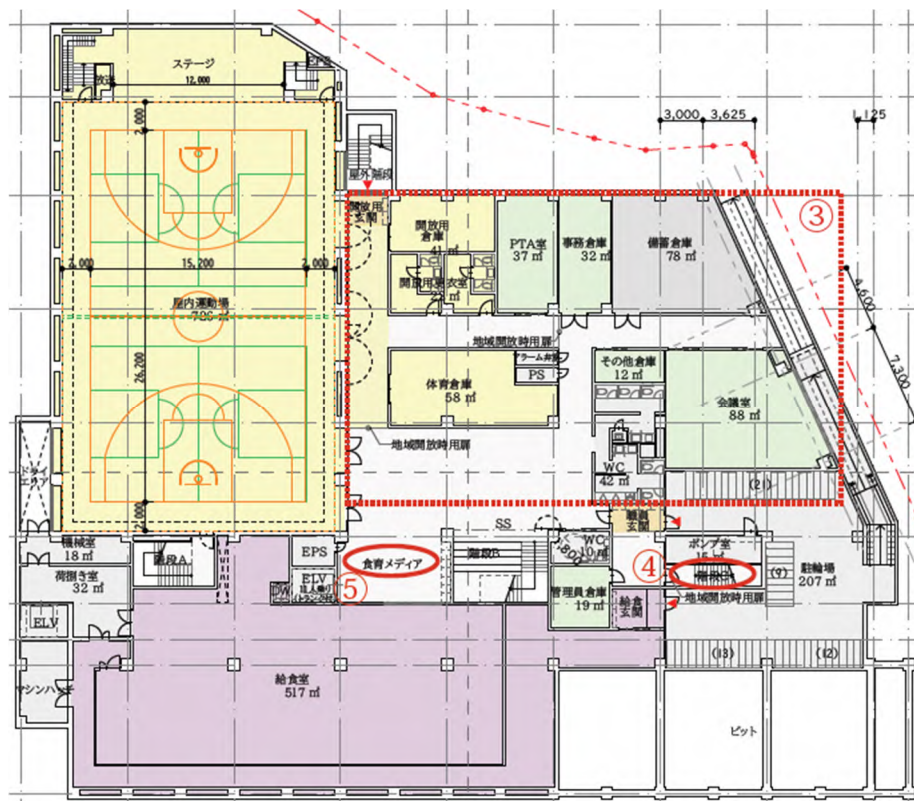
「北原小学校校舎等整備基本構想・基本計画」の時に示した新校舎の案から変更をした、最新の図面についての案を用意した。

以前ご覧いただいた基本計画の図面から変更している主な点について説明する。



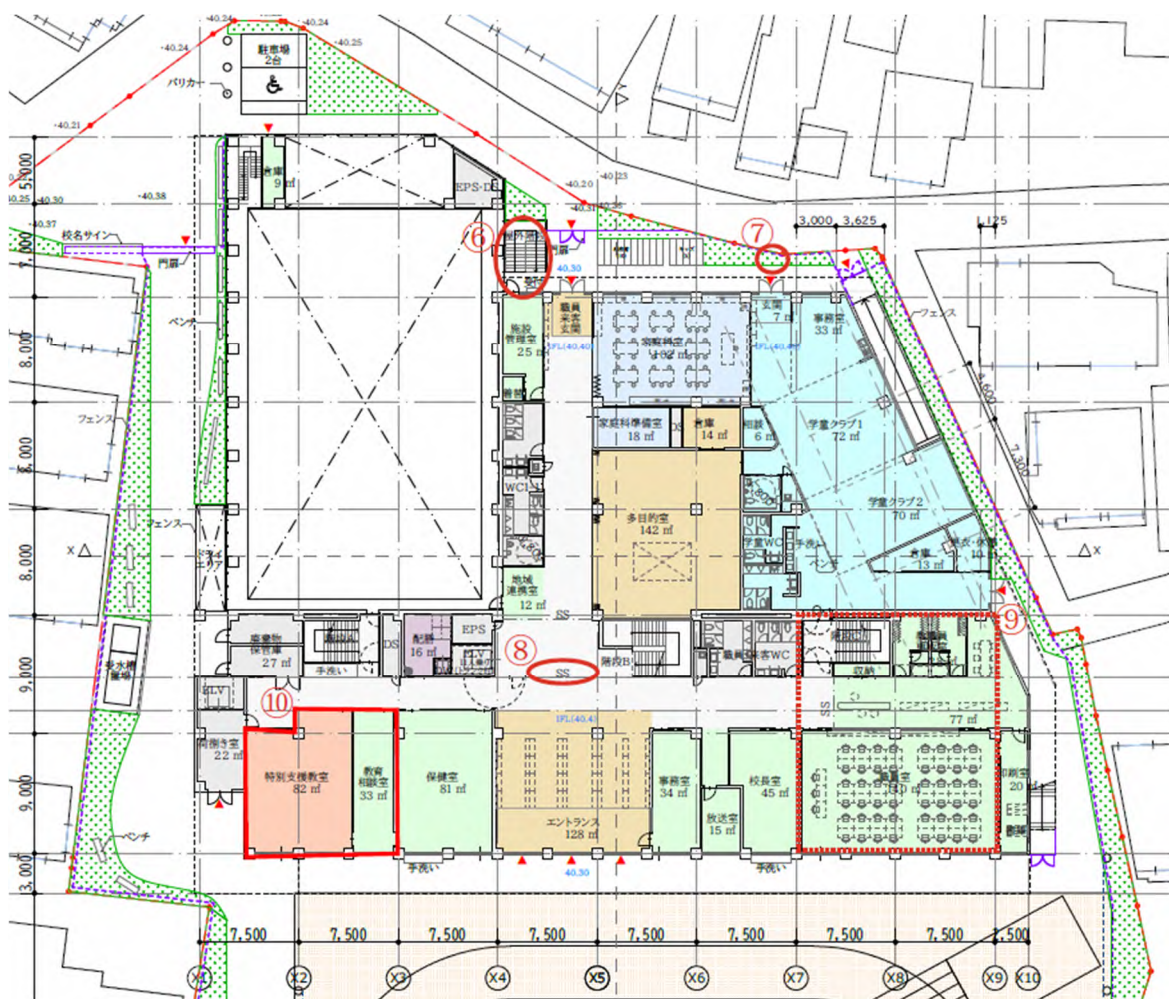
1階配置図

②について、門扉の追加をした。子供たちが東側からも通学してくることや緊急時等に南側に出入口を2か所活用できるため南東側に門扉を追加した。なお、この門扉は通常施錠管理とすることもできるため、実際の新校舎での運用を決める中で登下校での利用については、学校で判断していただければと考えている。



③について、地下の諸室配置の変更をした。体育館の開放、学校の日常の利用者の動線を整理する中で、配置変更を行った。体育館開放利用者の動線は北側に屋外階段を設けたのでそれを使って地下に降り、体育館を利用することとなる。その動線上に、体育館開放利用者が使用する倉庫やトイレを集中配置することにより、先生方や学校関係者との動線を分離している。主に黄色に色付けした部分が、体育館開放利用者の動線エリアとなる。また、体育館災害時の避難所となるので、その際の食料などの物資を備蓄物資として収納する備蓄倉庫も体育館と同一階に設置する変更ができています。さらに体育館前の廊下スペースは式典疾病等も想定の上、幅広いスペースを確保することができています。

⑤について、地下の給食室調理室の調理の様子が視認できる食育メディアスペースを新たに整備している。



1 階平面図

⑥について、体育館に通じる屋外階段の位置を変更した。これまでは門扉の外側に体育館利用者が利用する階段を設置していたが、施設管理の受付を行わずに地下の体育館に行くことができてしまうという状態にあったことから、門扉の内側に大階段を配置した。

⑦について、これまではキッズ・プラザ利用者用の出入り口を⑦の赤印のところに設置していたが、狭い道路上に人が滞留してしまうことも想定されたため。キッズ・プラザの担当とも調整のもと、門扉は左側を利用していくという整理になった。

⑧について、セキュリティラインの整理をした。こちらは多目的室等学校以外の方が利用される場合、職員室などの学校エリアに入れることがないよう動線の整備を行った。

⑨について、職員室周りのプラン調整だが、こちらは先生方がさらに使いやすい職員室となるよう地下に配置した職員更衣室であるとか印刷室を職員室エリアに整備し、もともと廊下だったスペースも職員スペースとして取り込んで大きな職員室とすることができた。

⑩について、特別支援教室と教育相談室の配置変更をしている。これは、教育相談室（子どものさまざまな悩みや心配事についてアドバイスや支援を行っていく機能）もあるが、保健室の隣に配置することによって、保健室と連携の上、子供たちが利用しやすい環境とするため、文部科学省による整備の考え方等に基づき、配置変更をした。



2階平面図

⑪について、学習メディアセンター（図書室）だが、南側の普通教室や北側の理科室、図工室と一体的に活用もできるよう壁は設けず、利用しやすい空間となるよう整備した。

⑫について、児童更衣室は1階の校庭や地下の体育館を利用する際に使用するというを考慮して、もともと3階であったものを2階に配置替えをした。



3階平面図

⑬について、2 階の学習メディアセンターから通ずるスペースになるが、こちらも活動・学習スペースとして壁のないエリアとして整備していく。

■議事3「新校舎整備のスケジュール（案）について」

子ども教育施設課長

最後に、資料4「新校舎整備のスケジュール（案）」である。こちらも以前、第3回の改築推進委員会で示しているスケジュールと変更はない。振り返りだが、令和8年度まで新校舎の基本設計、実施設計を行っていき、令和9年度から代替校舎へ子供たちが通学しはじめ、その年に改築の整備工事が開始する予定である。改築の整備は、令和12年度中に終了予定で令和13年度から新校舎の開校を予定している。説明は以上である。

委員長

それでは、説明のあった内容について、質問や意見はあるか。

委員1

地下1階のピットについて、長く使っていく中でいろんな荷物が増えていく。置き場所に困ったため、このピットを荷物置き場に変えられないか。最初の段階から整理しておけば、将来的に荷物が増えたとしても活用できると思う。

子ども教育施設課長

新校舎はまず、現状の校舎利用を想定した上で必要な事務倉庫スペースは確保している。今後のさらなる需要を考えた時に、汎用的なスペースとして必要なのかという視点も踏まえて検討を進めていきたい。

委員1

現時点でどういうスペースになるか。

子ども教育施設課長

現時点の図だけでいくと特に空間利用を想定していないエリアになる。こちらをどう活用して行くか全体の検討の中で必要性を含めて見定めていく。

委員長

他に意見はあるか。

委員2

スケジュールの件だが、2026年度（令和8年度）までは現校舎、2027年度（令和9年度）に4月から代替校舎へ移動するのか。

子ども教育施設課長

2027年度の春から、旧明和中学校に校舎が移転することとなる。

委員2

そうすると新校舎は2030年の4月には出来上がってるのか。それとも2031年か。

子ども教育施設課長

年としては 2031 年度になる。

委員 2

4 月ということか。スケジュールをよくはっきりしたいと思い、確認した。

委員長

他に意見はあるか。

委員 3

学習メディアセンターについて、壁がない状態と言っていたが、イメージ的には壁がないと見晴らしがよく、すごく素敵だと思いつつ、本を読むにあたって図書室って静かにしている印象があるので、壁を取っ払った理由があれば教えていただきたい。

あと、隣にある児童更衣室については、全学年の利用を考慮した広さではないのか。低学年からでも男女一緒に着替えることに抵抗がある子どもがいる。今カーテンで仕切っていたりするが、子どもによっては覗いたり、カーテン開けたりする。それで嫌な思いをする子どももいる。低学年からみんなが使えたらいいと思うので質問した。

子ども教育施設課長

図書室というと、通常壁があるってようなイメージかと思う。本を身近に感じてほしい、調べ物の学習というものを積極的に一連の動きの中でやってもらいたいというところで、壁をなくして利用しやすい環境で図書に親しむことも一つ狙いである。静寂な環境というのも図書室に求められる機能だと思うため図書室を利用する間、子どもたちは普通教室で授業を受けている、そういったところとの兼ね合いの中で一つ、学習メディアセンターはそのゾーンで静寂な環境っていうのは一定程度確保できると感じている。

更衣室の広さだが、全児童が一同に同じ時間で更衣室を利用した場合はもちろんこの広さでは対応ができない。運用の中で空き教室であるとか、工夫しながら着替えができる環境を整備したい。

委員長

他に意見はあるか。

委員 4

質問三つある。

一つは、ピットの部分だが、以前に私も質問したことがあったが、空間が必要でここを全部運用するとなるとお金がかかるから、ちょっとそれはどうかという返事があったと思う。今検討してもらえる発言があったので、それはちゃんと検討してくれるのか。次回はどうかっていうことを返事もらえるのか聞きたい。

あと、地下の体育館のステージの左側、地下にいた児童たちが避難路として二方向に避難できる場所は確保してあると聞いたが、ステージ左のところと左の階段は、その下の倉庫に繋がっているか質問を前にしたが、それがどうだったか。

令和小学校を見学した時にバルコニーの活用をしていて、気持ちよさそうでいいなっていう感想を持った。明和中学校を見学する機会があって、その時に頭が入らないぐらいしか開かない状態だった。運用面のところだから、これから考えていくことかもしれないが、それがあまりにも違ったという印象を受けたので、そのところがどう考えているのか。

子ども教育施設課長

1つ目について、地下のピット部分を活用するとお金がかかるということで、もちろんお金がかかるのは事実である。なので活用する必要性は見極めつつということであるが、こちらの活用が技術的に不可能ではないということも一つ聞いている。こちらを活用する場合と活用しない場合の考え方を検討し、示していきたいと思っている。

2つ目について、地下の体育館左側の階段はステージ横に配置している階段で体育館2階のキャットウォークといわれるところだが、そこにアクセスできる階段となっている。外に通じるものではなく、体育館の中で2階に通じる階段である。

委員4

右側にあるのは、ステージに上がる階段か。

子ども教育施設課長

その通り。

委員4

そうすると1階の倉庫の隣の階段はどんな階段か。

子ども教育施設課長

2階のキャットウォークに上がる階段の見え方になっており、外に通じる階段ではない。

委員4

柵がそのままある感じか。

子ども教育施設課長

体育館内でしか使えない。体育館のステージ部分と2階のバルコニーのようなところにつながる階段を図示するところが一階部分にも出てくる。

3つ目について、バルコニー自体は、子供たちが緊急時は避難にも使えるものとしている。直射日光をある程度防ぐこと等様々なメリットがある。また、一足制性で明和中は運用しているので校舎、校庭、バルコニーを一体的に活用できる動線として整理はしている。実際、整理している中で運用上、バルコニーをどう使うかは運用してみてもの学校側の判断と思われる。日頃からバルコニーに出していくというような状況で運用されるのか、窓はあるが、必要以上に開かない形の細工にするのか。どちらの運用もできると捉えていただきたい。

委員4

北原小の窓には付けるのか。

子ども教育施設課長

北原小も、必要以上に窓が開かない細工をつけることはできる。なので、こういった運用を想定しているかというところで、今後先生方と確認しながら決めていく。どちらの運用もできるところで捉えていただきたい。

委員長

他に意見はあるか。

委員5

これまでの学校の作り方って、廊下は南からも北からも窓によって採光がされていてある程度

電気をつけなくても明るさが確保できていると思うが、今回の北原小の改築に関しては、正方形になるような全体のイメージで北側、南側の校舎についてはそんなに心配してないが、内側の採光に関しては、昼間も常に電気がついてるような状況なのか。

子ども教育施設課長

南側から自然採光が入っている。電気もちろん活用していく中が、校舎の真ん中の部分にトップライトという形で自然採光を入れていく仕掛けも施している。例えば、2 階の学習メディアセンターはちょうど真ん中に色が塗られてない四角のところがあるかと思う。こちらが天然の光が差し込んでくるというような明かり採りをしている。見通しもよく、解放感も感じて常に明るさも取り入れる作りになっているので、これが3階部分も設けられている。1階にも届く。上からつながっているような感じなので、電気を使うところもあるが、自然採光を取り入れて子どもたちにとって明るさを取り入れた教育環境というものが実現できている。

委員6

バルコニーは、いつでも出ていってというのは非常に危ないと思っている。アサガオの鉢を置いて見せるときだけ担任が指示をして行くぐらいのことはあるかもしれないが、年がら年中いつでも子供たちがそこを出入り自由にできるというのは非常に危ないと思っているから明和中はそうなったと思う。メディアセンターに壁がないってことは、その一方で集中できない子もいるなんかもあるだろうけど、今の北原小で壁がないところ作ったら暑くてしょうがないと思うが、全館空調を導入することは決まっているのか。

子ども教育施設課長

学習メディアセンターは、壁のないところでどういような形で空調を効かせていくかということだが、同じように冷気だけの吹き出しがこのエリアにまずかかる。その後、このゾーンを気温を維持しつつ、適切に排気をしていくような設えがあるので、壁はないが、室温は快適に保たれている。

事務局

空調の話だが、壁はないが空気の流れをうまく調整して、ロスのないようにする。これから実施設計の中で必要な熱の負荷、暑さとか寒さ、そういったものに対してどのくらいの能力がいるかといったようなところを検討して空調機を設定していく。さっき話が合った通り、屋上がトップライト、明かり取りになっているため、通常の屋根より熱の負荷的に厳しいところではある。吹き抜けになっているので二層吹き抜けになったりする。そういった状況を踏まえながら、適切な基本設計だとか、建物側の断熱の設計とかもあるため、総合的に勘案して設計していきたいと思う。

委員6

ピットの話だが、去年はポンプ室とか駐輪場とかもピットになっていた。今回はそういうふうにピットの削減を工夫してくれてありがたいなっていうふうに思った。聞くとピットはバックヤードみたいな意味もあるって去年聞いた。さっきの答えみたいにその中でもちょっと工夫して部屋を作れというわけではないので、物置を作ってほしいということも工夫してほしいと思う。努力はちゃんとわかっている。

あと2階に更衣室がある。副校長先生と話していく中で全部がそうだということではないが、一応新校舎になって更衣室作ってくれたのはいいが、低学年から男女を分けて着替えなさいとかいう風潮になってきたこともよくわかっている。ただ、低学年は1階になることが多い。2階に更衣室があることで、2階へ行って着替えないといけないということはなかなか現実的でないこともある。だから低学年は教室にカーテンがあって、体育の時は着替えることもあるかというこ

ともあったのが、そこは学校で工夫しながらやっていくといいかと思う。

水泳の時は学年で少なくともあるので教室を変えて、1組が女子、2組が男子みたいに完全にカーテンで仕切ることなくできるのでいいかと思う。加えて高学年は更衣室も使いながらやるといいかと思う。

さらに、音楽会など全校練習なんかは一斉に着替えなきゃいけないが、そういう時も水泳と同じように例えば、1組が女子、2組が男子みたいにやっていけば北原は特に2クラスだと思うので、十分できると思う。もしかしたら低学年は、更衣室を使うのは現実的じゃないのかもしれないが、工夫してできるかなと思った。

あと新しいことと言うとマンホールトイレについて、なんか方法があるんだったら非常時にトイレ問題がすごい大きいと思う。マンホールトイレは下水管の上に穴を開けて作っておいて、校庭の犬走りとかに設置するとよく、トイレ問題が解決することもあったので、ちょっと聞いてみたい。

災害時にトイレの問題がすごい大きい。その時に下水管を校庭のたとえば犬走りのところに通しておいて、その上に穴を開けてくマンホールみたいになってる。そこに有事マンホール開けて、仮設トイレを設置していつでも使えるようなことをやっているところもあったんで、話を出してみたがどうか。

子ども教育施設課長

マンホールトイレが使えるように新校舎は基本的に整理している。避難所としての機能というものも想定しているため、用意して行く。まだ図面上、図示できてはいないが、設計を進めるにあたって、確認してもらえるようになっていく。マンホールトイレの位置は、まだ色々な検討が必要だが、利用者がどういう状況で利用するのか。もちろん列をなすこともありますし、視認性が良いところに設置したほうがよいものでもあるので、あらゆる角度でも確認した上で、整理していきたい。

委員1

前回防災訓練をやったときに備蓄のトイレを見た時、確か現時点だと4か所。確かその使えるマンホールがあるっていうふうに聞いている。

子ども教育施設課長

現状も認識した上で、どこまで設置できるか考えていく。

委員長

他に質問のある方。

委員7

質問事項が、配置図ごとにあるので、配置図ごとに伺う。まず配置図だが、今回その校庭の方は、前回示していただいた面積よりやや少なくなっていると思った。犬走りの部分で200㎡で取れるってところで斜めにしていただいたかと思うが、トラックが前回120mから110mになっていて一般的にだと150m~200mというところみたいなので、直線で長く取った理由と言うか、授業の方で直線を使う頻度が高いとか、そういった理由があるのかどうか伺いたい。

あとは、さっきマンホールトイレの話があったが、左端のところに校庭用トイレというのが設置されていると思うが、こここのすみ分けについて、これは誰が使うのか伺いたい。

あとは、図面の見方が不勉強で分からないが、この青い太枠で書かれている部分、北側にあるこの出入り口みたいな門が2か所あると思うが、それと内側の職員室の角部分にもあるが、こういった用途で使うものなのか具体的にイメージできていなく質問させていただく。

子ども教育施設課長

校庭の面積だが、こちら 2300 m²がいわゆる土の部分の舗装のサイズになる。おっしゃっていた犬走り部分が約 200 m²あるので、見え方としては 2300+200 m²、2500 m²ぐらいが広がっている。トラックだが、これは前回提示した案も 110m トラックである。既存校だと 110m トラックであるとか、120m トラックであるとかが、中野区内のトラックとしては多いのでこちらのトラックは、一般的という見え方がすると感じている。

あと、北側の門扉について、こちらはいわゆる学校機能であるとか学童クラブの中に入るところのゲートになる。こちらで利用者がチェックというか、確認をして中に入って来られるようなところになっている。

事務局

職員室の階段部分については、バルコニーに上がっていく階段の途中でちょっと切れるが、1 階の図面でちょっと斜め線で切れてるが、2 階まで繋がる階段になる。先ほどバルコニーに自由についていうところ、安全性を考えると普段は門扉で囲われていて、必要に応じて扉を開け閉めすれば階段を上がっていけることになっている。さきほど北側の門は外学校敷地のセキュリティラインみたいなことで、こちらについては 2 階のバルコニーとか校庭とかそういったところのセキュリティラインというか仕切りのラインって感じになる。

委員 7

北側のところにもう一つあるが、そこが学童クラブではなくて、その他の方が利用するイメージなのか。

子ども教育施設課長

1 階の配置図と地下の図面をご覧くださいとイメージがしやすいかなと思うが、見ていただいた 1 階のゲートを降りていくと地下の駐輪場に繋がるといっているところになっている。その地下の駐輪場との境と言うか、一つ仕切りとして設けているので、そういう意味合いのものである。

委員 7

その駐輪場は職員の方だけではなくて、利用する親御さんですとか保護者の方も利用できる想定しているか。

子ども教育施設課長

利用台数としては、この右側のところにちょっと字が小さいが、先生方であるとか給食の従業員の方であるとか、キッズ・プラザ、学童クラブの利用職員というものを想定している。その他、駐輪場としては 1 階部分のキッズ・プラザの丸をしているこちらの部分。こちらに基本的には停めていただくというのとその他のスペースもちょっと臨機応変にということになっていくかもしれないが、活用いただいて停めていただくというような運用になる。

委員 7

ありがとうございます。トイレについては。

子ども教育施設課長

校庭トイレについて、こちらは校庭利用者が、学校の中に入ることなく、トイレの利用ができるものである。マンホールトイレとのすみ分けというところというとマンホールトイレ自体は普段は本当にマンホールしかない、普通の平面になるので、そこが災害時には開いて下を排水できるというような仕様になるので、日常使いのマンホールトイレはない。日常的にはこの常設の校

庭トイレというものを皆さん利用いただくというようなイメージになる。

委員 7

災害時には使わないイメージか。

子ども教育施設課長

災害時ももちろん活用いただけるかなと思う。断水というか、水さえ機能していれば使えるものであり、校庭トイレでも水自体があれば、もちろん上から流して水圧で流すっていうこともできと思うので、そういった形になるかと。

委員 7

次が地下1階の平面図で、⑤の食育メディアってところのエリアだが、これは児童に対しての食育という観点で設置されたっていうことでよいか。

子ども教育施設課長

そのとおり。実際の調理している現場というところを子供たちに見てもらいたいというところで、まさに食育という言葉を使っている。調理の様子も視認できるというスペースで考えている。あくまでスペース。そういったところでたくさんの子供たちも滞留できるゾーンを確保している。

委員 7

2 階平面図で左上の受変電設備っていうのがあるかと思うが、例えば北原小って避難所に設置されてるが、停電とか災害時、震災の時は自家発電するような想定なのか。停電になった時の対応としては、こういった形で復旧する予定なのか。

事務局

受変電設備と言うと引き込んだ高圧の電気を何千ボルトっていうものを引き込んだのをご家庭で使う 100 ボルト 200 ボルトに変える装置になる。外の電源が途絶えると、受変電設備に来る電気も来ないので、有事の際、電気が停電になったという時は、この受変電設備で発電できるというようなものではない。発電設備というのは今回の学校には設けないが、太陽光パネルも若干ではあるけれども、屋上の可能なスペースに太陽光発電は設けるというふうに考えている。避難所になる部分には、空調機には一部自立型と言って、空調機自体が自分で発電をして空調できるというものもあるので夏場とか、そういった非難時に関しては、全部が全部となるとかなり重量があって、大きさも大きくなってしまいうので一部の部屋の空調は賄えるように、空調機も一部設置していくと考えている。

委員 7

夏場は本当に暑いので、今自動で運転する空調を考えているということだったが、なるべく長い時間動かせるものを設置していただけるとありがたいなと思っているのでお願いします。

事務局

あくまで避難所の機能として、防災の方も絡むが、そういったところと協議しながら、必要な容量を決めていきたい。

委員 7

最後 3 階だが、すごく細かいことで恐縮だが、音楽準備室について、以前に北原小学校は野方のウィズで開催されている地域の文化祭で音楽とか結構力入れてやられていること、楽器が多い

ってというような話を聞いたような気がしたが、学校的にこの㎡数で楽器が入りきるかどうか検討されているか。

委員 8

まだ確認はしていないが、この 50 ㎡って考えると今の準備室よりもだいぶ広くなって、おそらく収まるかな思っている。今現在はちょっと廊下とかに楽器を置いているので。

委員 7

ありがとうございます。以上となる。

委員長

他に意見あるか。

委員 5

ちょっと今更な質問で悪いが、1 階の学童クラブ 1 と学童クラブ 2 があって、両方ともだいたい 72 ㎡ぐらい。教室が 81 ㎡ということで、この間、校長先生が広くなったと話を聞いたが、キッズと学童ってというのはどういう風に使い分けをしていくのか。⑦の「門扉の集約」のところに、「キッズ・プラザ利用者動線の整理」とは書いてあるが、キッズ・プラザっていうところは特にないではないか。学童クラブに関しても多分教室 2 つ分ぐらいは、1 年生から 3 年生の学童ごとにいっぱいだから、新校になるのに事実上キッズ・プラザはないのか、っていうふうに思ってしまう。最初からなんか疑わしきことで、やっぱりなって思ってるが、キッズはどこに行くのか。緑野小とか行くと、玄関にもういっぱい並んでいる。ピンポンがたまに間違えちゃう。やっぱり学校とキッズはこの場合、どう使い分けるのか。

子ども教育施設課長

キッズ・プラザは、今見ていただいているこの絵としては学童クラブで、実際にはレギュラーで用意できるのが、この北原小の敷地の中では学童クラブになる。いわゆるキッズ・プラザと表現をしているというところで、放課後の子供たちの居場所としてはこのオレンジ色の多目的室、横についている機能ではあるが、日中は学校が使っているゾーンだが、学童クラブの青いゾーンから出入りができる設えにしていく予定である。ここをキッズ・プラザとして活用できるのではないかという想定をしている。

委員 5

作る前からキッズ・プラザがなくて、多目的で運用するっていう考え方に関してはいかがか。

子ども教育施設課長

今まで新校舎は、キッズ・プラザの専用諸室を整備ができている中で、それを最初の段階で実現できてないことは事実である。

ただ、多目的室を隣接した形で利用できることはキッズ・プラザの活動を確保できると認識している。

委員 5

キッズ・プラザも学童クラブも民間委託業者に依頼すると思うが、個別のエリアが確保されなくてキッズ・プラザって言うていいのか。今の運用面で北原小学校は、前回校長が新校舎にならなくてもキッズ・プラザ的な役割はあったほうがいいっていう提案があった。実は児童館がやってきて北原ランドをやったり、私たちもちょっとお手伝いしたりして、この教室を使ってほかの子供教室をやったりしているが、名目はキッズ・プラザではない。キッズ・プラザというものが

新校舎にならないとできないという概念は変えられないとしたら、せっかく新校舎が建つのにキッズ・プラザがないのはどういうことかと思っている。しつこいようだが、プールではなく、体育館の方がよかったと今でも思ってる。多目的室とエントランスあたりに北原小学校 300 人以上の児童がいて、学童は多分 3 学年で 70 人くらいいる。現在、駅のところに沖縄料理屋の上にも私設の学童クラブがあって、校内にある学童が足りなくなれば、親御さんたちは学校に無い学童に行かざるを得ない状況になる。だからどの学童クラブに対して、定員は何人ぐらいで考えているのか。学校の中にあることはとても安心なことだから、何人ぐらいを考えているのか。保育園だと一人 3.3 m²とか。学童クラブも多分、児童 1 人に対して最低の平米数というのがあると思うが、キッズ・プラザのことも積み残しになると多分相当の児童が余る心配をしている。前にエントランスも広いから使えるような話が出たこともなかったが、そうすると後ろからは入れるが、この廊下のところも使ってエントランスまでがキッズスペースということに事実上なるのか。ちょっと先生たちが大変そう。

子ども教育施設課長

多目的室の部分であるとかこの空間を様々な活動を想定して、今設計の期間中で使いやすさと汎用的な使い方を想定した配置変更を可能性の一つとして考えているところである。その目的の一つとして、キッズ・プラザの子どもたちがさらに利用しやすくてできることを想定し、かつ十二分に使えるものを用意したいと思う。担当とも話し合いを重ねながら工夫を見せられるか考えていきたい。

委員 5

民間委託か。

子ども教育施設課長

その通り。

委員 5

同じ業者が受けたとしても多分先生たちの責任の範疇が違ふと思う。対象の児童によって、すごい困ると思う。

子ども教育施設課長

時間によってこのゾーンは学童、このゾーンは学校ってことは明確に分けられることが望ましい状況かと思う。そういったところを念頭に置いた中でその運用を想定した上でどうハードを準備できるか検討を重ねていきたい。学童クラブの大きさについても基本的にはこの大きさということになっているが、先ほど基準で言うと 1 人あたり 1.65 m² 以上という基準もあるので、それを満たした中で運営の想定をしているところではあるので限られたスペースではあるが、豊かに使えるよう工夫を最大限考えていきたいと思う。

委員 5

ありがとうございます。

委員長

他に質問はあるか。

委員 1

いろいろ過去の事例とかも踏まえて、やっていただいていることを重々承知の上だが、話聞きな

がら小学校時代を思い出すと、いろんな子供がいたなと思った。例えば、私が小学生の時は理科室が火事になったり、もしくは同級生の女の子が急に「もう私自殺する」って言って屋上に上がってすごい高い金網があったので事なきを得た。あと焼却炉もあったので、焼却炉に自分たちの悪い点数のテストを投げ込んだなど想像がつかないような行動を子どもたちが取ることもあると思う。今まで全国でいろんな、危険もしくは、不慮の事故等があったと思うが、そこらへんに対するどのぐらいまでのその事例を拾って対応されてるのかっていうのは今日じゃなくて構わないが、話もしくは資料でいただけるとありがたい。

子ども教育施設課長

非常に大切な観点だと思う。つい先日も立川で学校内に学校関係者以外が入ってきてしまったという事例もあった。そういうことも想定の上、子どもたちの安全、先生方の安心な環境を考えていくというところで考えている。例えば、今の事例につながるということでいくと外側は機械警備という形でしっかり施錠している。さらにインターホンとかモニターで誰が来ているかが視認できるようになったりとか、監視カメラもつけていくし、学校の中に入ってきてしまったときにすぐに警察につながる学校 110 番という機能であるものも犯罪事件を通して、あらゆることを想定して安全な設えとしている。

そういったものが、いろいろ感じられる校舎はなろうかと思うので、これまでの事例を最大限活用していく。

委員 1

できればそういうもののリスト化できないか。

子ども教育施設課長

直接事例と対応を一点一致することは難しいかもしれないが、子供たちの安全を考えた時にとっている工夫をいくつか紹介させていただくということはできる。

委員 1

よろしくお願いします。

委員長

他にご意見がありましたら挙手してください。

委員 5

新校のプランについての意見だということで差し控えていたが、4 年間、明和中跡施設に移転するが跡施設に学童クラブはできるのか学童の人から聞かれている。移転校舎から現在の学童クラブまで遠くなる人がいる。交通安全のことが何より心配で、できたら学校に行ったら学校に居てほしいという願いがある。差し支えなければ、明和中跡施設の中にプレハブでもいいから学童クラブを建てられないか。

子ども教育施設課長

キッズ・プラザ、学童クラブの担当にも確認しているところだが、既存の北原児童館で活動すると聞いている。私がお話できるところで言うと例えば明和中跡施設の普通教室は教育活動で埋まってしまっているというような状況は事実である。校舎の機能の中でもし学童クラブ使えたらという思いも抱かれると思うが、中身の改修の図面を見ると余白がない状況である。

委員 5

どう考えても 4 中の方が広そうだが。

子ども教育施設課長

川で分かれて南側のところが校庭で北側のゾーンは校舎等で南校舎が3階で北校舎は4階で高さが違う。4階が使用できないという制約があるので、見た目以上に部屋を使えない。

委員5

分かった。

委員長

他に何か。

委員3

体育館の2階のキャットウォークの部分に関してだが、中野中だと2階、1階から体育館に入るが、キャットウォークの部分は2階からも入れる感じで、そこから体育館が見え、観客席にもなっている。鷺の杜はそういうのはなく、体育館の1階から入って階段から2階に上がって、2階から安全に見れるようなスペースもある感じだが、どんな感じか。

子ども教育施設課長

キャットウォークにつながる部分として、地域連携室とかキャットウォークのところにダイレクトアクセスできる通路をもうけているので、出入りも可能。

委員3

ありがとうございます。イベントをやって親御が上から見ることがあるときに、そういう作りだといいなと思った。

委員長

他に何か。

委員9

明和中の改築中のこととか、その10年後にどうなるかというのは、この委員会でなんかアナウンスがあるのか。今年から明和中の生徒が出ていって、今鍵かけて、実際、防災も今年の初めての会議で説明があるかもしれないが、その辺の中が今後どうなっていくのか。

子ども教育施設課長

今日はちょっと違うが、紹介することはできる。現在明和中、その前は旧四中だが、明和中学校の新校舎がこの4月から利用できるようになったので、このタイミングで移転移動している。来年度は北原小の子供たちが使うための改修工事を行っていく。校庭がまだ広場として利用できる状況ではあるので地域の活動で校庭を使った活動を開錠して使ってもらえるようなこともやってはいる中ではある。しかし、普段誰もいないような状況なので広く皆さんが利用できる状況ではない。

委員長

意見がなければ、本日の改築推進委員会は、これをもって終了する。